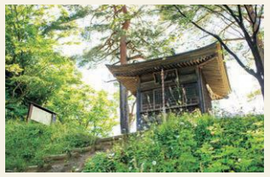
春日山城入門見どころ紹介〈春日山城のエキスパートになれる案内板が各所にあります〉

本丸・天守台
日本海と頸城平野の眺望がみごと。



毘沙門堂
謙信公が出陣前に戦勝を祈願した所。



景勝屋敷
謙信公の跡を相続した上杉景勝の屋敷跡。



大井戸
どんな渇水でも涸れることなく今も水をたたえる大井戸。



直江屋敷
上杉家の重臣、直江兼続の屋敷跡。



千貫門
どの絵図にも描かれている門跡。



三の丸
米蔵、三郎景虎屋敷跡や土塁がある。三郎景虎は「御館の乱」で悲運の死を遂げた武将。



春日山神社
謙信公を祭神とし、旧高田藩士小川澄晴が浄財を募り、祭主となって創建したもの。日本近代童話の父と呼ばれる小川未明は澄晴の長男。



春日山城史跡広場
春日山城跡ものがたり館
春日山城の持つ大きな特徴の一つは、山裾に堀と土塁からなる城の一番外側の構えである総構が延長約1.2kmに亘り築かれたことがあげられる。春日山城史跡広場では、復元した堀や土塁を見ることができる。「ものがたり館」は映像で謙信公の生涯と春日山城のなりたちについて学ぶことができるほか、川中島合戦図屏風などを展示している。



〈問い合わせ〉TEL.025-544-3728

日本百名城スタンプラリー
スタンプ設置所
（休館日はものがたり館入口に設置）

春日神社
越後守護上杉氏の氏神。春日山城築城のとき鬼門神として山頂から遷座したと伝えられ、春日山城の名前の由来となった。



林泉寺
謙信公の祖父・長尾能景が父の菩提を弔うために創建した長尾氏の菩提寺。謙信公は7歳から14歳まで、名僧・天室光育のもと文武の修行を積みました。戦国の武将としては教養が高く信仰心が深いのはこの時代に培われたものです。惣門は春日山城から移築したといわれ、山門は鎌倉時代の様式を取り入れた大正14年(1925)建立の名作。墓地には謙信公や堀家三代の墓、川中島合戦の死者の供養塔があります。境内は時を経て少年謙信公の息づかいが聞こえるようです。宝物館には謙信公の書簡などゆかりの品が展示されています。



林泉寺惣門

御館跡（御館の乱の舞台）



天正6年(1578)に謙信公が亡くなると、養子である上杉景勝と三郎景虎が跡目を争ったのが御館の乱。三郎景虎のたてこもる御館（前関東管領上杉憲政の館）を景勝軍が総攻撃し落城。この乱で、安国寺・至徳寺などの名刹や府中の町6000軒が焼けたと伝えられています。
三郎景虎は北条氏康の七男で、越相同盟の人質だったものを謙信公が養子とした人で、美男であったといわれています。
一方の景勝は謙信公の姉の子で、御館の乱に勝利し、上杉家の家督を相続しました。
景勝の家臣として活躍したのが直江兼続です。その後、景勝と兼続は上杉家繁栄に大きな功績を残しました。

謙信公と春日山城ゆかりの展示

謙信公戦国絵巻館





『越後上越 上杉おもてなし武将隊』
上杉謙信公を中心とした武将たちが謙信公戦国絵巻館を本陣として、春日山城跡をはじめ、市内の観光施設やイベント会場で観光客のおもてなしや演武をして、上越市の観光PR活動を行っています。

謙信公の武勇と遺徳を讃え偲ぶ 謙信公祭（毎年8月下旬開催）

鎧兜に身をつつんだ武者たちが練り歩く出陣行列や、出陣の儀式である武締式が行われます。夕闇せまるころ篝火のなかで行われる川中島合戦の再現は戦国絵巻そのもの。そのほか献納米合戦や大民踊流し、物産展などが行われます。



出陣行列



川中島合戦の再現

武将隊.YouTube チャンネル

戦国の名将

謙信公は享禄3年（1530）、越後守護代長尾為景の末子として生まれ、7歳のとき林泉寺に入り、名僧・天室光育から厳しく文武の道を習っています。
14歳で元服して長尾景虎と名乗り、19歳で兄・晴景に代わって越後守護代になりました。以後、越後統一、信濃・関東・北陸への出兵が生涯続きます。永禄4年（1561）に鎌倉の鶴岡八幡宮で上杉姓と関東管領職を上杉憲政から譲られ、上杉氏を名乗ることになります。
天文22年（1553）と永禄2年（1559）の2度にわたって上洛し、天皇や将軍に拝謁して、厚い信頼を寄せられました。
武田信玄と5度も川中島で戦っていながら、かえって信玄に救援の塩を送ったり、また領土的野心で戦をしたことは一度も無かったといわれるほど「義」に篤い武将でした。
天正6年（1578）、関東出兵を前にして、突然、49歳の生涯をとじました。



謙信公が深く信仰した毘沙門天

春日山城跡は、城としての歴史だけでなく、自然の宝庫としても四季折々の豊かな表情を訪れる人々に見せてくれます。

春日山城跡へのアクセス



観光の問い合わせ先

上越市観光推進課
TEL 025(520)5740
(公社)上越観光コンベンション協会
(直江津屋台会館内)
TEL 025(543)2777

－謙信公銅像前まで－
・えちごトキめき鉄道「春日山駅」から 徒歩40分
・えちごトキめき鉄道「春日山駅」から頸城自動車バス5分、「埋蔵文化財センター前」下車徒歩15分
・JR北陸新幹線「上越妙高駅」から10km 車で25分
・北陸自動車道上越ICから5km 車で15分
・上信越自動車道上越高田ICから8km 車で20分

2026.7発行

春日山城と上杉謙信公ゆかり



戦国の名将・上杉謙信公の居城として今も天下にその名をとどろかせている春日山城は、越後守護上杉氏が戦時のために築いた城で、今の県庁にあたる守護所（直江津駅南）から約4kmの位置にあり、関東・信濃・北陸への往来が一目で監視できる、守護代長尾氏が守護と連繋して守っていました。
春日山城は、石垣がなく、自然の地形と土木工事により巡らせた空堀や土塁などによって多くの曲輪を守っていました。また天守閣を持たず、周囲の山々に砦を築いて、よりよき城としての機能をもたせていました。こうした城の造りは、戦国時代の山城としての特徴をよく表しています。
天正7年（1579）に養子の上杉景勝に、慶長3年（1598）には景勝の会津移封に伴って堀秀治に引き継がれました。しかし、堀氏が慶長12年(1607)直江津港近くに福島城を新築して移ると、城としての使命を終えました。



春日山城絵図



【春日山城　御城印】

頒布場所：埋蔵文化財センター
価　　格：300円
来城の記念となる御城印を頒布しています。
詳しくは、市ホームページ（文化行政課）をご覧いただくか、上越市教育委員会文化行政課までお問合せください。(TEL:025-545-9269)
※来城の記念にしていただきたいことから、郵送での頒布は行っていません。
※埋蔵文化財センターが休館日の場合は、上越市立歴史博物館でお求めいただけます。ただし、両施設とも休館の場合はお求めいただけません。


可憐な花を咲かせるカタクリ


うす紫色の花が初夏を告げるシャガ


二の丸の一本イチョウ

春日山巡りコース

※上越市観光ガイド（有料）をご希望の方は、希望日の2週間前までに（公社）上越観光コンベンション協会へお申込みください（TEL025-543-2777）月曜休館。（月曜日祝日の場合は翌日休館）

三郎景虎屋敷コース　【所要時間　徒歩約1時間】

謙信公銅像前→三の丸（米蔵・三郎景虎屋敷）→二の丸→本丸→大井戸→景勝屋敷→大井戸→本丸→毘沙門堂→直江屋敷→千貫門→春日山神社

千貫門コース　【所要時間　徒歩約1時間 30 分】

春日山神社→未明詩碑→未明父母の碑→千貫門→（空堀）→直江屋敷→毘沙門堂→本丸→大井戸→橋台→景勝屋敷→御成街道→二の丸→三の丸（米蔵・三郎景虎屋敷）→謙信公銅像前

大手道コース　【所要時間　徒歩約1時間　※本丸まで】

大手道入口→大手道→南三の丸→柿崎屋敷→景勝屋敷→大井戸→本丸（柿崎屋敷→御成街道→本丸）
→ここから自由に下りのコースを選んでください

謙信公コース　【所要時間　徒歩・見学を含めて約 2 時間】

春日山城史跡広場・東城砦・ものがたり館（約40分）→春日神社→林泉寺・宝物館・謙信公墓所（約30分）→蓮池（愛宕谷公園）→黒金門→春日山神社石段下→春日山神社
→ここから千貫門コースで本丸へ

春日山城跡本丸からの眺望



【春日山城の支城・砦跡(一部)】
旗持城(柏崎市)・柿崎城跡(柿崎区)・小野城(柿崎区)・猿毛城(柿崎区)・顕法寺城(吉川区)・雁金城(頸城区)・城山狼煙場(大島区)
虫川城(浦川原区)・直峰城(安塚区)・大間城(三和区)・池舟城(牧区)・北方城(高士地区北方)・白看板城(清里区)・京ヶ岳城(清里区)
焼山城(板倉区)・箕冠城(板倉区)・黒田城(金谷地区黒田)・トヤ峰砦(金谷地区下正善寺)・宇津尾砦(金谷地区宇津尾)
城ヶ峰砦(谷浜・桑取地区中桑取)・日の入城(名立区)・鳥坂城(妙高市)・鮫ヶ尾城(妙高市)

チェックポイント



【春日山城跡「土の一袋運動」にご協力ください】

「土の一袋運動」は長年の風雨で土砂が流出して風化が進む春日山城の修復に役立てるために、訪れた方々と協働で一袋の土を本丸まで運ぶ活動です。春日山を守るため課題となっている水回りの改善などに役立てます。ご協力をお願いします。

詳しくは、市ホームページ（文化行政課）をご覧ください。

問合せ：上越市教育委員会 文化行政課
（TEL：025-545-9269）

「土の一袋運動」の袋

市ホームページ（文化行政課）

●どのコースも山道を通るので山歩きができる服装で。　●山道を通るため、野生動物に遭遇する可能性があります。クマ鈴などの音の出るものを身につけて。　●風の強い日は、枝折れの可能性があります。頭上、足元に充分ご注意ください。　●春日山城跡は火気厳禁です。